

災害への備え、被災時の地域協力を考える内郷の会

あんしん内郷

第 2 号

発行：内郷地区社会福祉協議会

Tel/Fax:043-486-5690

eメール:uts@catv296.ne.jp

Instagram:uchigou_bousai



あんしん内郷
Instagram

災害の備えは大丈夫？

みなさん、災害への備えはできていますか。家族で話し合っていますか。多発する地震、気候変動による近年の集中豪雨や大型台風など、いつ起こるか分からない災害に対して、まずは各家庭での備えが必須です。そして、大規模災害のときは、地域の繋がり、協力が被害の拡大を防ぎ、早期復旧の力になります。

内郷地区では『あんしん内郷：災害への備え、被災時の地域協力を考える内郷の会』が立ち上がりました。防災や減災への意識を高め、住民自身で『あんしん』を考える場です。情報はこの広報紙やインスタグラムで提供します。みなさんからも、役立つヒントをお寄せください。一緒に災害に強い内郷を目指しましょう。

第2号は、『断水への備え』についてです。

近年、自然災害による影響で断水が起きたニュースをよく見ます。昨年9月には、台風15号の影響で静岡県では長期間の断水が発生しました。また、千葉県でも令和元年の房総半島台風により大規模停電が発生し、断水したことは記憶に新しいところです。

東日本大地震の時は、水道管の破損による断水や、その後の計画停電による断水も経験しました。

では、日頃から断水についてどうしたらいいか？ 考えてみましょう。3つのポイントをご紹介します。



『正しい情報』

身の安全を確保した後に正しい情報を得ることが重要です。計画的な工事による断水の場合、事前に連絡があると思いますが、自然災害は突然です。正確な情報収集が大切です。9月の静岡を襲った台風の時も、SNSやインターネットで嘘の被害写真などが多く出回りました。色々な情報に惑わされないように注意が必要です。

佐倉市ホームページの確認。佐倉市メール配信サービスに登録しておけば、メールで情報が配信されます。

インターネットでの情報も参考になりますが、災害時は、地域の方々との情報交換が何よりも大切です。

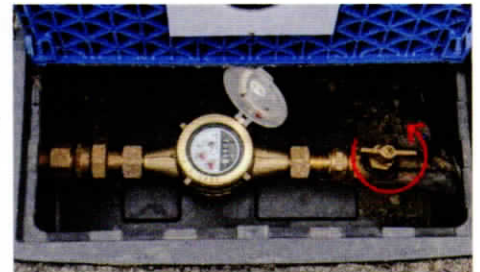


『止水栓を閉じる』

大規模災害時に、避難所への避難や長期の断水が発生した場合には、通電火災を防ぐ為にブレーカーを落とすと同様に、家の止水栓を閉じるようにして下さい。

これは断水が解消した後の被害「赤水」の対策です。赤水がトイレや給湯器、洗濯機等に入ると故障につながる恐れがあります。

- 止水栓の場所を確認しましょう。
通常は水道メーターボックス付近にあります。(写真右)
- 断水の際は、家の止水栓を閉じましょう。
- トイレやキッチン、洗濯機の水栓も閉じましょう。



断水解消後は、水道管に近い止水栓を解放し、庭などの水道から透明な水が出ることを確認してください。問題なければ徐々に確認しながら止水した栓を解放してください。

『水の備蓄』

人間1人が、1日に必要な水はおよそ3リットルです。

- 日頃から、ペットボトル等を用意しておく。
ウォーターサーバーも災害保存水として有効。
- 台風の際は、事前にお風呂に水を溜めておく。
- 防災井戸の場所の確認。→ 内郷小学校
水質が飲用には適さない為、災害時の生活用水としての利用となりますが、防災倉庫に飲料水を備蓄しています。
(150人分×3日分)
- ポリタンクとキャリーがあると便利。(写真右)
長期間の断水により、給水車で水を確保する場合に活躍します。



※給水車について

- ・佐倉市は給水車を3台保有し、全て佐倉市役所の敷地内に駐車してあります。
- ・給水車1台当たり運べる飲料水の量は、2台が2トントラック、1台が1.7トントラックです。
- ・給水車は、給水拠点である市内3カ所の浄水場で水の補給をします。
- ・道路の寸断により佐倉市の給水車が不足する場合は、千葉県水道災害相互応援協定により、県内の水道事業体に給水車の応援を要請することになります。

「私の防災対策アイデア」を募集します

Instagramで「#あんしん内郷」とつけて投稿してください。Eメール、ファクスでもお寄せください。いただいたアイデアは、Instagramのほか、この広報紙でも随時、紹介します。